

# 第76回国民体育大会選手選考基準

Ver.20210206

(一財)栃木陸上競技協会 強化部

## 1. 国体予選競技会 ※栃木陸協の指定する国体参加資格が取得できる大会

- 栃木県陸上競技春季大会
- 栃木県高等学校総合体育大会陸上競技大会
- 栃木県陸上競技選手権大会
- 全日本中学校通信陸上競技大会栃木県大会
- 栃木県高等学校陸上競技学年別大会
- 国民体育大会陸上競技栃木県予選会 兼 国体選考記録会
- 栃木陸上競技協会記録会(第1回、第2回)

※上記1. の国体予選競技会に出場しなかった選手、または出場しなかった種目については選考対象外となる(下記 2. の選考対象競技会のみ出場では選考対象外。但し、トップアスリート参加資格特例措置対象者等の特例を除く)

※少年男子 B3000m に出場意志がある選手は、国民体育大会陸上競技栃木県予選会に必ず出場すること。

## 2. 選考対象競技会(参考競技会)

※選考する際には以下の競技会の実績も参考とする。

- 1) 成年  
日本選手権・U20 日本選手権・日本グランプリシリーズ(プレミア含む)・各地区インカレ・各地区実業団・日本学生個人選手権
- 2) 少年 A・B・共通(高校生)  
関東高等学校陸上競技大会・全国高等学校陸上競技選手権大会
- 3) 少年 B・共通(中学生)  
栃木県中学校春季体育大会陸上競技大会・栃木県中学校総合体育大会陸上競技選手権大会  
関東中学陸上競技大会

## 3. 選考基準

- 1) 国体選考にかかわる記録の有効期間は、2021年4月1日～2021年8月7日までとし、全国ランキングは、2021年8月7日時点でのものとする。(長距離種目においては、2020年10月14日～2021年3月31日までも参考記録とする)
- 2) 国体において入賞する可能性が高いと判断(概ね全国ランキング 16 位程度まで)される選手がいる種目から選考する。その際の優先順位は以下の通りとする。※全国ランキング:種別ランキング  

①全国ランキング上位者(入賞可能な選手)	②リレーの編成
----------------------	---------
- 3) 該当者が複数いる場合や、国体入賞可能な記録に近い記録を出している選手が存在する場合は、国体予選競技会および各種選考対象競技会(参考競技会)の結果を考慮して実績のある者を優先する。
- 4) 項目 3) で決定できない場合(特に少年種別に於いて、今季ベスト記録に差がない、または、全国高校総体・関東高校で入賞者が複数いる、または、特筆する結果がない場合)は、国民体育大会陸上競技栃木県予選会の結果を重視して選考する。

- 5) 成年種別の選考は、栃木県陸上競技選手権大会の結果を重視して選考する。ただし、日本選手権出場者は、その結果についても考慮する。
- 6) リレー種目については、男女とも編成することを前提とし、国体予選競技会及び選考対象競技会の実績を参考にリレーの特性を考慮して選考する。特に、混合 4×400mR の選考については、200m および 400m の記録を重視する。(上記1. の国体予選競技会の 400m に出場していること。成年選手は 300m に出場していることを前提) 但し、リレー種目のチーム編成に関して次のような状況の場合は編成しないこともあり得る。

○リレー編成メンバーのうち個人出場種目が1名以下の場合。

○国体選考有効期間内におけるリレー候補選手の100m または、400m 記録の合計タイムがガイドラインを超える場合。(※ガイドラインは直近国体過去3大会分でのリレー予選通過記録を参考)

<p><b>【ガイドライン】</b> 4×100mR &lt;男子&gt; <u>42 秒 80</u> &lt;女子&gt; <u>48 秒 80</u>          4×400mR &lt;混合&gt; <u>三重国体では編成する</u></p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 7) 少年男子 B3000m の選考については、国民体育大会陸上競技栃木県予選会の結果を重視する。ただし、中学生がいる場合は、直近の国体3大会分における第8位記録の平均タイムを突破しており、且つ、国民体育大会陸上競技栃木県予選会において優勝した者を選考対象とする。  
【直近国体過去3大会 少年男子 B3000m 決勝の8位平均タイム】 8分31秒94
- 8) 上記の過程による選考を終えても国体出場最大枠である29名に満たない場合は、29名以下での選考もあり得る。

#### 4. 確認事項・その他

- 1) 国体に参加意思がある競技者は、以下の参加人員・出場制限・国体参加資格等および別紙の「国民体育大会参加資格について(選手用)」を必ず一読すること。
- 2) 全国ランキングの数字は、国体候補選手の内定と直結するとは限らない。
- 3) 選考対象選手であっても、選手選考時点で怪我や病気等の問題が生じている選手については選考しない場合がある。
- 4) 国体候補選手の内々定については、(一財)栃木陸上競技協会 理事会の承認を経た後、各所属長または本人宛に決定通知を郵送する。(8月中旬頃)
- 5) 選手内定(決定)後に、怪我や病気等の問題が生じた選手や栃木県を代表とする国体選手として不適切な行動が確認された選手については、選手変更をする場合がある。
- 6) 選考された選手(特に県内選手)は、原則として国体強化練習会・合宿に必ず参加すること。参加しない選手は内定(決定)を変更する場合もある。
- 7) 内定(決定)後は、国体を重要大会と位置付けて調整に励み、所属顧問と該当する強化部ブロック長との連携を密にとり、ケガ無く国体までの準備を進めること。

## (参加人員・出場制限・国体参加資格等)

※以下は実施要項の公表により変更となる可能性あり

### 【参加人員】

- 選手団編成：監督(2名)・選手29名(男子選手19名以内、女子選手19名以内)計31名とする(監督兼選手(1名)の場合は、参加選手30名を選考することができる)。
- 1種目1名、同一人の出場は2種目までとする。ただし、リレーは除く。
- (一財)栃木陸上競技協会が定める上記1.の県国体予選競技会に出場しなかった選手、または出場しなかった種目については選考対象外となる。ただし、1種目の予選のみに出場し、その種目の代表選手となった者は、予選に出場しなかった他の1種目にも出場することができる。
- 4×100mリレーチームの編成は、男女とも成年、少年A、少年Bから各1名、残りの1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とする。
- 男女混合4×400mリレーチームの編成は、男女とも少年Aもしくは少年Bから各1名、残りの男女各1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とする。
- リレーに出場する者は、予選会などの種目であっても参加していれば出場できる。
- 成年女子800mには少年Aからもエントリーできる(成年少年いずれか1名)。
- 成年男子10000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選を経た者でもよい。少年男子共通5000m競歩、成年女子5000m競歩の出場者は、3000m競歩の予選を経た者でもよい。少年女子共通3000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選を経た者でもよい。
- 成年女子走高跳には、少年女子Aからもエントリーできる(成年少年いずれか1名)。
- 成年女子棒高跳には、少年女子Aからもエントリーできる(成年少年いずれか1名)。
- 少年男子B3000mの出場者は、1500mの予選会を経た者でもよい。
- 成年男子・少年男子A・成年女子・少年女子A300mの出場者は、100m、200m、400mいずれかの予選会を経た者でもよい。

### 【参加資格】

- 日本国籍であること。  
(日本国籍を有しない場合は、(ア)在留資格が永住者、(イ)少年種別に該当し「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する少年種別の学生又は生徒で1年以上在籍している。また、在留資格が「留学」または「家族滞在(中学3年生)」に該当すること、(ウ)成年種別は、少年種別の際に上記(イ)に該当し、大会参加時から終了時まで在留資格が「留学」に該当しないこと。)
- 日本国籍を有しない者については、学校教育法第1条に定める学校に在籍する生徒に限り、少年の種別に各都道府県、男女各1名以内で参加することができる。**【陸上競技】**
- 第74回(茨城)または第75回大会(都道府県大会及びブロック大会を含む)に栃木県以外から出場していないこと。  
※例外：**【成年種別】【少年種別】**ともに別途大会実施要項(総則)を参照
- 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ3、4(以上、JAAF公認コーチ)または、公認陸上競技コーチ1、2(以上、JAAF公認ジュニアコーチ)の資格を有する者とする。なお、監督、選手兼任の場合も同様とする。
- ふるさと選手制度については、第76回国民体育大会実施要項総則5(別記1を含む。)の規程による。
- 第76回国民体育大会におけるトップアスリート参加資格特例措置対象者(該当種目に限る)については、(公財)日本スポーツ協会が定める特例の内容に準じて選考の対象とする。
- その他の参加資格・条件については、別途大会実施要項(総則)および別紙「国民体育大会参加資格について(選手用)」を参照。

※下線部分は昨年度からの主な変更または修正箇所。太下線部分は重要箇所。